

# 令和4年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（夏季）入学試験

### 入学試験問題

#### ⑧ 言語コミュニケーション・言語教育

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

【共通問題】

問1. 次の 1～18 から 6 つ選び、選んだ語句の番号を解答用紙に書いた上で、それぞれ具体例を挙げて説明しなさい。(20 点×6=120 点)

1. (会話における) ターン・テイキング (turn-taking)
2. 談話標識 (discourse marker)
3. 交感的言語使用 (phatic communion)
4. エポケー(epoché)
5. メタ認知能力
6. 内容重視の言語教育(Content-Based Instruction)
7. シャドウイング(shadowing)
8. ソーシャル・サポート(social support)
9. コーチング(coaching)
10. 適切性条件(felicity condition)
11. 中間言語(interlanguage)
12. 正規表現(regular expressions)
13. 異文化適応(Cross-Cultural Adjustment)
14. シラバス(syllabus)
15. 発話行為理論(speech act theory)
16. syllable と mora
17. exophora と endophora
18. anaphora と cataphora

【選択問題】

問2. 次の I ~ IX から 2 つ選び、それぞれについて解答しなさい。選んだ問題の番号を  
解答用紙に書きなさい。(40 点×2=80 点)

I 日本語の話し言葉で、本来より簡単な音形に実現される縮約形について説明しなさい。  
(40 点)

II 以下の(1)(2)の問いに答えなさい。(40 点)

ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は談話分析に  
関する内容の英文7行。

(1) 上記の全文を日本語に訳しなさい。(20 点)

(2) reference, presupposition, implicature, inference について、任意の言語から具体例  
を挙げて日本語で解説しなさい。(20 点)

III 以下の(1)(2)(3)の問いに答えなさい。(40 点)

(1) 現代朝鮮語のいわゆる格助詞 (가/이, 를/을など) を、「助詞」ではなく「語尾」とする  
見解がある。「語尾」と見做す場合、朝鮮語の格助詞のどのような性質がその根拠とな  
りうるか、述べなさい。(10 点)

(2) 現代朝鮮語における共時的な形態音韻論的現象をひとつ挙げ、それについて、  
詳しく述べなさい。(10 点)

(3) ハングルの文字論的な性格について、「音素文字的側面」と「素性文字的側面」  
からそれぞれ詳しく述べなさい。(20 点)

IV コーパス言語学に関する以下の(1) (2)の問いに答えなさい。(40 点)

(1) corpus-driven approach と corpus-based approach の違いについて説明しなさい。(20 点)

(2) monitor corpus とはどのようなものか、具体的なコーパス名を挙げながら説明しなさい。(20 点)

V 具体例をあげつつ、第二言語または外国語の学習における情意要因について述べなさい。(40 点)

VI 海外から受け入れる短期留学生日本語オンライン研修で、相互文化理解を目的とする内容を日本語研修の中に組み込むことになりました。研修の期間は 10 日間・総研修時間は 30 時間です。あなたは、相互文化理解のためにどのようなシラバスを立てますか。短期留学生の出身国や母語、日本語レベル、日本語学習に占める相互文化理解の時間数については、各自で設定すること。  
(40 点)

VII 以下の(1)(2)(3)の問いに答えなさい。(40 点)

(1) 日本語の派生語と複合語の例をひとつずつ提示し、それらを語形成の観点から分析しなさい。(10 点)

(2) アスペクトの観点から、日本語の「テイル/テイタ」と英語の“be+現在分詞”の類似点と相違点を述べなさい。(10 点)

(3) 以下の「させていただきます」の文についてどう思いますか。また、そのように思う理由を言語学的に簡潔に説明しなさい。(20 点)

- a. 先日は佐藤先生のご好意でその研究会に参加させていただきました。
- b. 今日は佐藤先生のご講演で大変感動させていただきました。

VIII 文部科学省の有識者会議「大学入試のあり方に関する検討会議」は2021年7月、2025年以降の大学入学共通テストにおける英語民間試験の活用について「実現は困難」とする提言を出しました。このことに関連して、以下の(1)(2)(3)の問いに答えなさい。(40点)

- (1) そもそも文部科学省はなぜ大学入学共通テストにおいて英語民間試験を活用しようとしたのでしょうか、あなたの知るところを述べなさい。(10点)
- (2) 大学入学共通テストにおいて英語民間試験を活用することについて何が問題なのでしょうか。あなたの知るところやあなたの考えを述べなさい。(15点)
- (3) 大学入学共通テストにおいて英語民間試験を活用しないとすれば、今後の大学入試における英語の試験はどのようにするのがよいのでしょうか。あなたの考えを述べなさい。(15点)

IX 以下の(1)(2)の問いに答えなさい。(40点)

ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は議論の文脈に関する内容の英文26行。

- (1) 3つの“spheres” of argumentation について4つの基準に基づき説明しなさい。(24点)
- (2) 具体的な論争を取り上げ、それが3つの“spheres”においてどのように議論されるのかを説明しなさい。(16点)